

緑風会 藪田 啓介 議員

健康増進について

(質問) 国民健康保険加入者の特定健診受診率向上への取り組み、がん検診の受診率向上への取り組みはどうなっているか。また、胃がん(ピロリ菌)検査を20歳で実施することはできないか。

(答弁) 来年度は特定健診の受診勧奨はがきにおいて直近3年のうち、毎年受診している方、全く受診していない方、1・2回受診し

ている方の3グループに分け、それぞれの特性に合わせた内容で案内することによって受診率の向上を目指している。がん検診においては、胃がん検診の無料クーポン券を個別に配布することで、約5%受診率が増加している。また、集団検診については、平成26年よりインターネット予約を導入し、利便性の向上を図っている。ピロリ菌検査については現在40歳からとして事業を実施しているの、20歳での検査については調査研究していく。

鈴鹿の風 中西 大輔 議員

子ども・若者の参加の推進について

(質問) 今後、鈴鹿市が策定または改定をする各種計画、特に総合計画など重要計画について、子ども・若者が参画できる場を検討できるか。通年の常設型で子ども・若者の会議、集まりを検討できるか。会議設置の根拠条例制定に取り組めるか。

(答弁) シティズンシップ教育を推進する必

要があり、主権者として参加することの意義を考えさせるとともに、アクティブラーニングの視点で、社会に参画する力を育む教育を推進する。子ども・若者の参画機会の拡充を図る。キャリア教育の視点から、多様な切り口で社会に関心を持てる取り組みを進める。若い世代の参画の推進は必要、参画が増える取り組みを検討する。

若い世代が姿勢に参画する取り組みについて、目的を明確にし、検討して判断したい。

その他の質問 ○スポーツ施設指定管理選定について

緑風会 宮本 正一 議員

高齢者の日常生活支援について

(質問) 高齢者世帯が増加する中、ごみ集積所設置基準の緩和など、身体機能低下による日常生活の不安解消に努めるべきではないか。

(答弁) ごみ集積所は、設置指導指針の基準に基づき運用しており、自治会からの相談により配慮が必要と判断される場合は、利便性を考慮した設置案を提案し対応する。本年度より要支援1と2の要介護認定者に加え、認

定を受けていない方でも、基本チェックリストによって支援が必要と判断された方に対し、週1回1時間程度の洗濯・掃除・ごみ出しなどを含む身体介護を伴わない新たな生活支援訪問型サービスを実施している。今後も高齢者が利用しやすい環境整備を進め、策定中の第8次鈴鹿市高齢者福祉計画においても多様な事業主体による介護予防・生活支援サービス事業などの推進と担い手確保に取り組む。

その他の質問 ○子どもの成長に伴う交通安全教育

リベラル鈴鹿 板倉 操 議員

指定管理者候補者選定時の混乱について

(質問) 担当部署が一貫して非公募で選定することがふさわしい団体としていたNPO法人鈴鹿市体育協会だったが、選定委員会が公募を主張し、県外のA業者が僅差で選ばれた。「本市のスポーツ振興の理念や方針に唯一合致する団体」と絶賛していたのは何だったのか。NPO法人を選ぶことが議会からの提言にも

沿ったものであり、市内経済の循環を考えると重要なのではないか。この混乱を招いた原因は何か。責任はどこにあるのか。

また、A業者の事業計画は実行可能かどうか見定めが必要な箇所もある。指定の取り消しの手続きはあるのか。

(答弁) 当初、確かに非公募が良いと考えていたが選定委員会の決定を尊重し公募と決めた。指定の取り消し手続きは協定書に規定があるが、モニタリングを実施して、チェック・点検をしていき約束どおり実行させていく。